

【参考】 滞留水量と滞留水中の放射性物質について（1/2）



- 建屋滞留水処理における滞留水量と放射性物質量の推移を以下に示す。
- 建屋滞留水処理を計画的に進め、建屋滞留水量を段階的に低減させている。

号機	建屋	2019年3月(実績)		2023年1月(現在)	
		滞留水量	放射性物質量※	滞留水量	放射性物質量※
1号機	R/B	約 1,800 m ³	1.4E14 Bq	約 650 m ³	1.6E13 Bq
	T/B	床面露出維持		床面露出維持	
	Rw/B	床面露出維持		床面露出維持	
2号機	R/B	約 3,200 m ³	1.1E14 Bq	約 1,100 m ³	3.9E13 Bq
	T/B	約 3,100 m ³	5.0E13 Bq	床面露出維持	
	Rw/B	約 800 m ³	1.3E13 Bq	床面露出維持	
3号機	R/B	約 3,300 m ³	5.7E14 Bq	約 1,450 m ³	4.3E13 Bq
	T/B	約 3,300 m ³	1.6E14 Bq	床面露出維持	
	Rw/B	約 800 m ³	3.9E13 Bq	床面露出維持	
4号機	R/B	約 3,200 m ³	2.9E12 Bq	床面露出維持	
	T/B	約 3,000 m ³	2.7E12 Bq	床面露出維持	
	Rw/B	約 1,200 m ³	1.1E12 Bq	床面露出維持	
集中Rw	PMB	約 11,000 m ³	4.4E14 Bq	約 5,400 m ³	7.5E13 Bq
	HTI	約 3,100 m ³	1.7E14 Bq	約 2,500 m ³	7.3E13 Bq
合計		約 37,700 m ³	1.7E15 Bq	約 11,100 m ³	2.5E14 Bq

※ Cs-134 Cs-137 Sr-90の合計値

【参考】 滞留水量と滞留水中の放射性物質について (2/2)



■ 滞留水水位を以下に示す。(2023年1月時点)

- 1号機R/B : T.P.-2000程度
- 2号機R/B : T.P.-2800程度
- 3号機R/B : T.P.-2600程度
- プロセス主建屋 : T.P.-367
- 高温焼却炉建屋 : T.P.-185